

# 平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	02040309	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	配食サービス事業	担当部署名	健康福祉課福祉・子育てグループ	
		作成責任者職氏名	課長 尾谷義彦	内線 340
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	02健康・福祉	04高齢者福祉の推進	03介護予防・生活支援サービスの提供	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成12年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	千早赤阪村食の自立支援配食サービス事業 義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>在宅の高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう食関連サービスの利用調整を行った上で栄養バランスのとれた食事を配達することで利用者の安否の確認や在宅高齢者等の健康と福祉の増進を図ることができる。</p> <p>②内容</p> <p>・週3回(火・木・金曜日)に配食サービスを実施している。利用料は400円/回。社会福祉協議会に委託している。 ・適切にアセスメントを行い必要な食数を配達する。</p>	<p>65歳以上のひとり暮らし高齢者及び屋間ひとり暮らし高齢者。</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>在宅高齢者栄養バランスのとれた食事を配達することで高齢者の健康及び安否確認を行うことができる。</p>	<p>配達ボランティアの数が年々減少している。</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
			22 年度	23 年度		24 年度	25 年度	
			実績	事業費(予算)	実績(見込)	事業費(見込)	事業費(見込)	
事業費(見込含む)(千円)(A)			1,875	1,875	1,120	1,875	1,875	
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源			1,875	1,875	1,120	1,875	1,875	
人件費	一般職員所要人員(人)(B)		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)		311	311	311	311	311	
総コスト費(千円)(A+C)			2,186	2,186	1,431	2,186	2,186	
人口あたりコスト(円)			355	355	232	355	355	
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度 目標値	25 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	利用者数	人	30	28	93%	30	30
②	目標指標							
③	目標指標							

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	増加傾向にある一人暮らし高齢者の生活を支えるものであり、より適切な支援ができるよう、検討が必要である。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	食事作りが困難な一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等で配食の必要ある方には充分利用されており、成果もある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	配食ボランティアさんもあり、経費削減につながっている。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	一部受益者負担のため公平性が保たれている。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16)	<b>12</b> / 16	<b>75%</b> (B)
-------------------------	----------------	----------------

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
<b>93%</b>	<b>75%</b>	<b>84%</b>	<b>b</b>
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
<b>B</b>	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
食事づくりが困難な一人暮らしの高齢者等に栄養バランスのとれた食事を提供し、かつ安否確認を行える。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
配食サービス事業については、高齢者及び障害者の生活支援サービスであり、栄養バランス、安否確認のため、効率性のよいサービスと考える。今後、一人暮らし高齢者が増加することが予測される中で、さらに効率的な事業手法を検討する必要がある。	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
配食サービス事業については、高齢者及び障害者の生活支援サービスであり、栄養バランス、安否確認のため、効率性のよいサービスと考える。今後、一人暮らし高齢者が増加することが予測される中で、さらに効率的な事業手法を検討する必要がある。	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

日曜日のため、効率はのびのびと進んでいない。今後、八ヶ岳の同部署が増加することが予想される中で、さらに効率的な事業手法を検討する必要がある。

U  
D: 縮小  
E: 休止・廃止